

新中期経営計画

(2018年～2024年度)

共栄社化学株式会社

共栄社化学株式会社は、創業時からの事業精神である『共存共栄』の理念を礎に

- 全てに一流を目指し
- みんなで作る元気で強くて良い会社として
- 世界に通用する優良中堅企業に必ず成長する

を不変のビジョンとして掲げ、

- ニッチ分野で差別化を図った多品種高付加価値製品に特化し
- 売上高180億円、営業利益率12%を達成する

を創業120周年である2024年のあるべき姿として、2018年度から2024年度の7年間を
実行期間とする新中期経営計画を策定しました。

当社が考える3つの経営課題

1. 収益基盤の更なる強化

2. 革新（イノベーション）の必要性

3. 経営基盤の更なる強化

収益基盤の更なる強化

2024年のあるべき姿実現の為に、Better Quality Better Serviceに常に挑戦し、バランスに優れた既存事業ポートフォリオの更なる強化、発展に注力します。

主要事業部の重点テーマ



機能性化学品事業部

- オリゴマー
- 機能性材料



金属化学品事業部

- 洗浄剤(ボイラー、膜)
- ソーラー加工薬剤



塗料添加剤事業部

- プラスチック添加剤
- 塗膜親水化剤

革新(イノベーション)の必要性



当社固有技術とオープンイノベーション精神でお客様との連携を強化し、新規市場開拓(メディカルヘルスケア市場)、新規素材開発(モノマー、ポリマー)に注力します。

また、革新を起こす為の最適組織体制を検討、組織再編成も実施します。

経営基盤の更なる強化

新基幹システムの構築

既存基幹システムの再構築を図り、徹底的な業務の効率化を追求するとともに、会社の成長に向けた重点管理指標(KGI, KPI)を適切に設定します。

次世代管理体制の確立

重点管理指標を最大限に活用出来る幹部層育成に注力し、更なる経営基盤の強化に注力します。

次世代リーダー育成

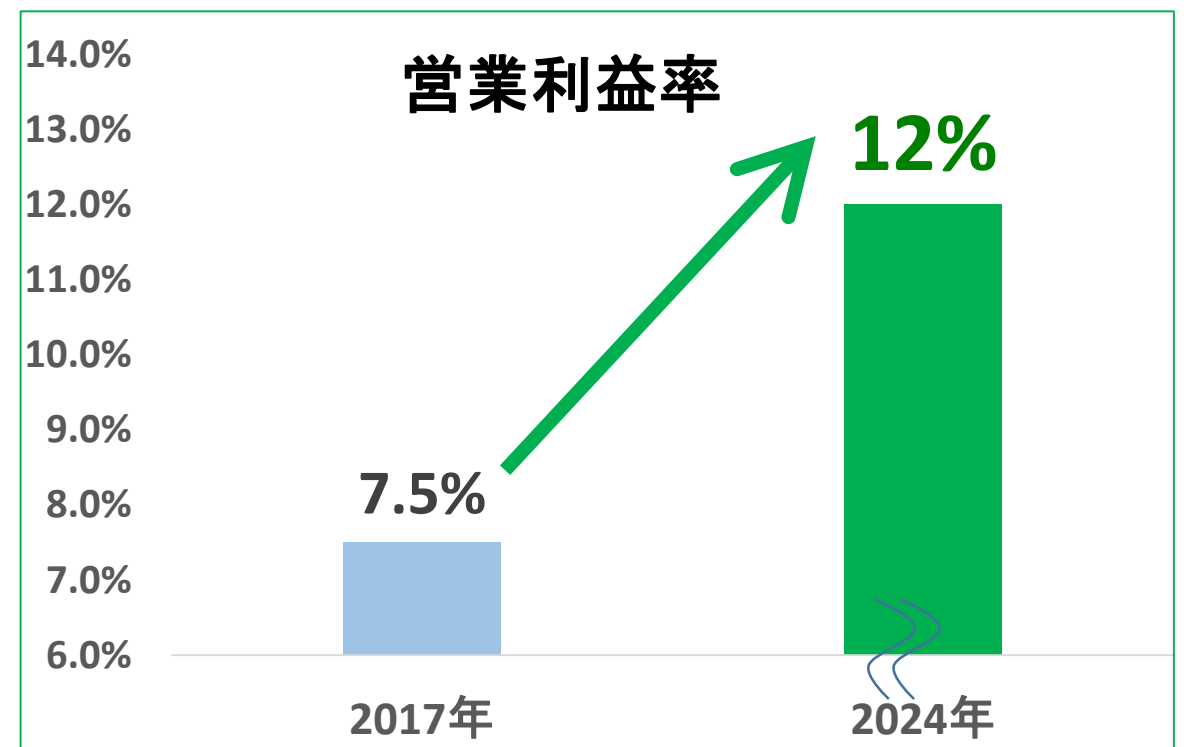
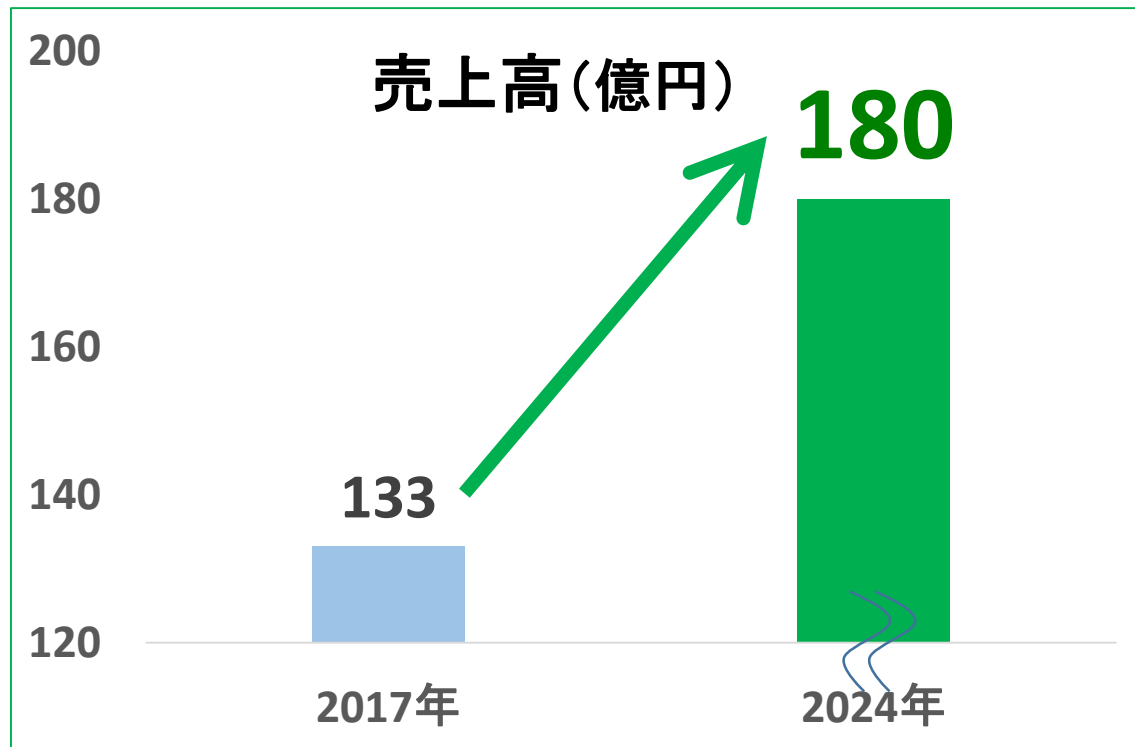
各種プロジェクト参画・OJT・研修を通じて次世代リーダーの育成に注力します。

数値目標

2024年度の数値目標を以下とし、結果に徹底的に拘ります。

売上高: 180億円 営業利益率: 12% EBITDA: 16.5%

単位: 億円



総投資額を100億円とし、成長投資（成長のための設備増強及び戦略的投資）に87億円を重点配分し、R&D投資に13億円を投入します。

➤ 設備増強投資

54億円

➤ 戦略的投資

33億円

➤ R&D投資

13億円